

(科目コード : 8903120004CC)

【改訂】第3版(2017-11-13)

【科目】環境都市工学ゼミナール

【科目分類】専門科目 【選択・必修の別】必修

【学期・単位数】通年・2単位

【対象学科・専攻】環境都市 4年

【担当教員】前期：木村 清和, 谷村 嘉恵, 宮里 直樹, 堀尾 明宏, 鈴木 一史, 瀧本 朋久, 森田 年一  
先村 律雄, 永野 博之, 田中 英紀  
後期：木村 清和, 谷村 嘉恵, 宮里 直樹, 堀尾 明宏, 鈴木 一史, 瀧本 朋久, 森田 年一  
先村 律雄, 永野 博之, 田中 英紀

【授業目標】

小人数で担当教員より、直接、学ぶことができる。  
教員から研究の動機や研究方法などを学ぶことができる。  
「自分ならこうする」というような各人の研究への取組姿勢を確定できる。  
5年次での卒業研究をより充実させることができる。  
事例研究を通して技術者倫理観を養うことができる。  
ゼミナール活動を通じて、最終的に各自が書式・体裁を整えて「ゼミナール」報告書を作成できる。

【教育方針・授業概要】

本科目の総授業時間数は60時間である。  
環境都市工学科教員の研究分野・内容について、「担任による教員紹介や教員総覧、学校だより等」の資料から調べ、各人が最も興味を持っている研究分野の教員を選ぶ。各教員の学習・教育目標に従って授業はすすめられるが、学生諸君の「こんなことを知りたい。」ということについても、アドバイスを受けることができる。

【教科書・教材・参考書等】

担当教員の指示による

【授業形式・視聴覚・機器等の活用】

配属が決定後は各指導教員の研究室に出向きゼミナールを受ける。

【メッセージ】

後期末(2月)に報告書の提出がある。原則として報告書の締め切りに遅れたり、提出しない場合は単位の取得はできない。

【成績評価方法】

[前期]通年で評価する。  
[後期]報告書の到達度レベルや完成度、1年間の研究活動の状況・態度から、(1)目標達成度50%、(2)専門的内容の理解度30%、(3)デザイン能力20%として、担当教員が評価案を作成。その評価案を基に学科全教員で評価する。

【本校の学習・教育目標】

(D-1) 自然科学、基礎工学、専門工学の知識を用いて、現実の技術的課題を理解し、それを解決するための工夫ができる  
(D-3) 実験・実習科目の修得を通じて、自主的、継続的に学習できる能力を身に付ける

【授業計画】(環境都市工学ゼミナール)

回数	授業の主題	内容	レポート	宿題
第1回		・最近のゼミナールテーマ (田中) コンクリートに関する研究		
		(先村) 土木施工に関する研究		
		(木村) 構造物および構造力学に関する研究		
		(堀尾) 水環境の現状把握および水質改善に関する研究		
		(谷村) 地球環境問題や環境生物や水環境などに関する研究		
		(宮里) 水環境や環境生物を主とした環境工学に関する研究		
		(森田) 地盤工学に関する研究		
		(瀧本) 橋梁や耐震工学に関する研究		
		(鈴木) 都市・地域計画に関する研究		
		(永野) 水理学に関する研究		